

平成30年5月吉日

会員会社代表者各位

経営企画部門・IT管理部門担当役員様

株式会社 自動車部品会館

(協賛(一社)日本自動車部品工業会)

「デジタル経営革新の自動車産業へのインパクト」

～デジタル経営革新手法とインド IT との協業を中心に～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

世界中で取り組みの始まっているデジタル革新は、日本でもあらゆる業界の経営者の関心事となり、業界の枠を超え今後のビジネスの盛衰を握る鍵であると認識され始めています。デジタル化／EV化の時代は垂直統合型の代表である自動車産業が水平分業型の事業形態に移行し、系列を超えた再編をもたらす可能性があります。また、環境負荷軽減、ライフスタイルの変化等の中での、ライドシェア事業の活況により、自動車の企画主体も変わる可能性があるなか、デジタル変革の現状、強みを生かす経営革新の事例、第4次産業革命におけるイノベーション経営戦略をどのように確立するか等の基礎知識を得る事を目的としたセミナーを「**デジタル経営革新の自動車産業へのインパクト**」～**デジタル経営革新手法とインド IT との協業を中心に～**のテーマにて**平成30年6月28日(木)**に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成30年6月21日(木)までにお申込下さいますようお願い申し上げます。

敬具

I. テーマ

「デジタル経営革新の自動車産業へのインパクト」

～デジタル経営革新手法とインド IT との協業を中心に～

II. 講師：

城ヶ崎経営研究所
代表コンサルタント 城ヶ崎 寛 氏

III. 日 程

開催日時：平成30年6月28日(木)
(午前10時00分～午後4時00分まで)

IV. 開催場所：自動車部品会館 601会議室(6階)
東京都港区高輪1-16-15(同封地図参照)
電話03-5422-6351

V. 受講料：36,000円【税込】(テキスト・昼食代を含む)
(JAPIA会員会社は21,600円【税込】)

◎ 申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名及び氏名を明記して、6月21日(木)(必着)までにFAX又はメール及び弊社ホームページよりお申込ください。折り返し申込受付票をお送りいたします。万が一お申込み後に参加を取り消す場合は、必ず下記にご連絡下さいますようお願い致します。

②受講料の請求書を郵送致しますので、銀行振込にて6月21日(木)までにお支払ください。(振込手数料は貴社でご負担頂きますようお願い致します)

③受講希望者が収容定員(20名)になり次第締め切りとなります。

★参加お申込み後のキャンセルは6月21日(木)までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

★受講希望者が少数の場合は、中止となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎ 申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島 電話：03-5422-6351

ijjima@japia.or.jp

「デジタル経営革新の自動車産業へのインパクト」

～デジタル経営革新手法とインド IT との協業を中心に～

I. 研修関連

★ 研修の趣旨

世界中で取り組みの始まっているデジタル革新は、日本でもあらゆる業界の経営者の関心事となり、業界の枠を超え今後のビジネスの盛衰を握る鍵であると認識され始めています。

今までグローバル対応を進めてきた自動車部品業界では、デジタル変革に加えて、脱炭素化社会に向けた再生エネルギー活用の観点から電気自動車(EV)という変革に向けても対応していく必要があります。デジタル化/EV化の時代は、垂直統合型の代表である自動車産業が水平分業型の事業形態に移行し、系列を超えた再編をもたらす可能性があります。また、環境負荷軽減、ライフスタイルの変化等の中での、ライドシェア事業の活況により、自動車の企画主体も変わる可能性があります。

一方IT分野においては、グローバル対応をする手段として、インドのITが活用されてきています。グローバル市場をにらみ、デジタル変革を利用したイノベーションに対応するためには、グローバル対応可能なITプラットフォームを利用して、自社の強みを掛け合わせる経営革新計画が必要になります。また、その経営革新計画を推進するには、今まで以上に良いITプラットフォームを持つグローバルパートナーが必要となります。

本セミナーでは、デジタルイノベーション対応を企画する、あるいはこれからの新規事業を検討する予定の自動車部品製造業の経営者、CIO、COO、本社経営企画部門、IT管理部門の方々を対象として、デジタル変革の現状、強みを生かす経営革新の事例、また、インドにおけるIT産業の現状と活用方法、異文化理解や自社のコアコンピタンスを活用する手法を学んでいただき、第4次産業革命におけるイノベーション経営戦略をどの様に確立するかの基本知識を得ることを目的としています。

★ 研修内容

第一部 デジタル変革が経営に与える影響（2時間）

1. デジタル対応に舵を切り始めた自動車部品メーカー（D社の例）
2. インドITを9年間活用してきた自動車メーカー（N自動車の例）
3. 欧米の自動車部品会社の水平展開事例
4. 自社の既存事業の強みの活用法
5. 環境変化とデジタル変革の取り組み方

第二部 インドのITを活用した競争戦略（1時間30分）

1. インドにおけるIT産業
2. グローバルに伍する競争戦略
3. 競争戦略立案・運営手法

第三部 グループワーク（1時間30分）

1. 攻めの経営革新戦略の立て方
2. インドを活用したプロジェクトマネジメントに進め方

II. 講師

城ヶ崎 寛

コンサルビューション(株)パートナーコンサルタント

城ヶ崎 経営研究所 代表コンサルタント 博士（システム情報科学） 中小企業診断士

公立はこだて未来大学博士後期課程 2017年3月修了

早稲田大学理工学部電気工学科 1987年3月卒業

中小企業診断士 2008年4月資格取得

IT企業経験30年、1987年から11年間日本アイ・ビー・エム株式会社勤務。直近では、2008年より日本アイ・ビー・エムにて自動車メーカー向け日本全国の本社および関連会社のITインフラ関連のプリセールス担当、2011年よりインドのIT企業タタ・コンサルタンシー・サービスズ・ジャパンにて、総合商社向けグローバルインフラ構築及びヘルプデスク構築支援プロジェクトのプリセールスを担当、2013年11月より、英国IT企業にてベトナムオフショアリング事業の日本事業創業責任者、

2016年7月より現職2018年2月外務省ロシア日本センター主催セミナーにてモスクワ、サンクトペテルブルク他合計5都市にて「経営革新におけるプロジェクトマネジメント手法」講義

2017年11月末より東京にて、外務省主催ロシアIT企業22社向け訪日研修の主任講師を担当

2017年JICA事業において南アフリカ熟練工育成推進プロジェクト詳細計画策定

2017年中小製造業15社に対して経済産業省助成金申請支援プロジェクトマネージャー担当

共同著作：「ロイヤルティ・マーケティング」他多数

博士論文：「人の感性に着目したスマートデバイスによるセンシング方式の研究」

(Emotion-focused methodology for smart device sensing)

FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

2018年6月28日

デジタル経営革新の自動車産業へのインパクト申込書

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。